

「感染症に強い学校」づくりにむけて

感染症の流行状況に応じて、対策を強化したり緩めたりしながら、「いつ、どのような感染症が流行しても、速やかに感染拡大防止の対策をとることができる学校」づくりを目指します。

令和6年度江差高校保健室・学校保健委員会

手指衛生・マスク着用

- 感染症予防の基本は、ていねい(30秒)でこまめな手洗いです。ハンカチは毎日清潔なものを持参し、友人間での共用は避けてください。
- ハンドソープを手洗い場に複数常設しています。登校後、食事前、トイレの後、清掃後などは、汚れを落とす観点からも、手指消毒よりも手洗いが効果的です。
- 教室前に手指消毒用アルコールを常設します。入退室の際に利用してください。
- ハンドソープと手指消毒用アルコールは、週末に保健安全委員会が補充をしています。補充できない時もありますので、減っている場合は、各クラスやトイレ清掃担当で補充をしてください。(補充は職員室・保健室にあります)

清掃・消毒

- 毎日の清掃活動は感染症対策に効果的です。感染症流行期では、多くの人が触れる場所として、扉やスイッチ、蛇口等のアルコール消毒を推奨します。
- 情報処理室や体育館では特に、共用を避けられない教材や教具、情報機器等を使用します。使用中は顔(目・鼻・口)を極力触らないようにし、出入りする際は、入口にある手指消毒用アルコールを利用してください。また、職員室からクロムブック等を借用した時は、除菌シートで拭いてから返却してください。

マスク着用

- マスクの着用は本人の判断に任せています。
- 感染流行期は、マスク着用を推奨(できる限り着用)する場合があります。
- 感染症流行期であっても、運動時や既往症(喘息など)によりマスクをしていて息苦しいと感じたら、無理をせずにマスクをはずし、周囲の人と十分に距離をとってください。

換気

- 天候上可能な限り常に換気を行います。
- 冬季は暖房で温めた空気を逃がさないために、授業開始前後の廊下扉による換気を重視します。室温には注意しますが、天気や座席によっては寒くなるのが予想されます。各自で防寒対策をとり、だらしない格好・服装にならないよう注意してください。
- 移動教室が多くありますので、生徒の皆さんも窓や扉の開け閉めに協力してください。

感染症流行期における健康観察

- 感染症流行期に発熱(平熱の+1.0℃以上が目安)がある場合は無理して登校せず、自宅療養や受診を検討してください。
- 感染症流行期には、登校後に健康観察を行うことがあります。各学級のGoogleクラスルームにフォームをあげるのので、各自回答してください。

その他

- 感染症にかかわる情報は、たくさんの量があり、日々変化しています。テレビやインターネット等で得た情報が本当に正しい情報か判断する力が必要です。地域・職業・基礎疾患などによる差別や偏見を生まないよう、一人ひとりが考えて過ごしてください。